

平面図



2階から上に上がる階段の立体を消す方法を教えてください。

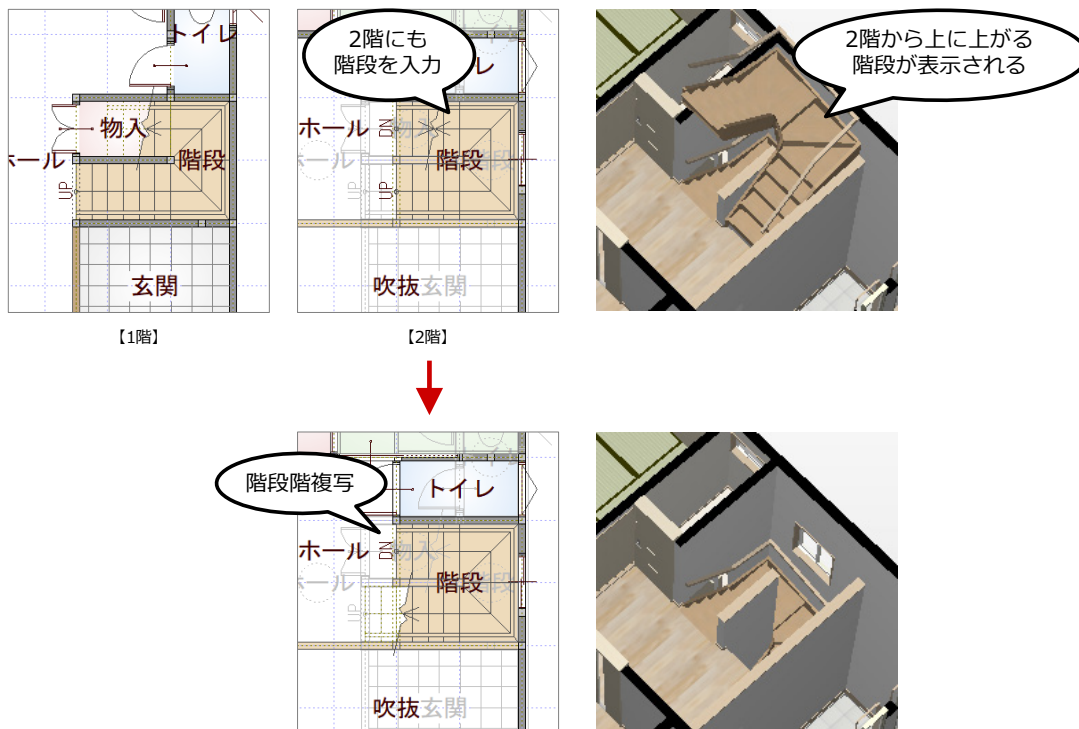


階段の属性変更ダイアログの「平面表現」にある「立体・断面不出力」をONにします。
「階段階複写」や「階段高一括」の機能を使用すると、平面表現も同時に処理できます。

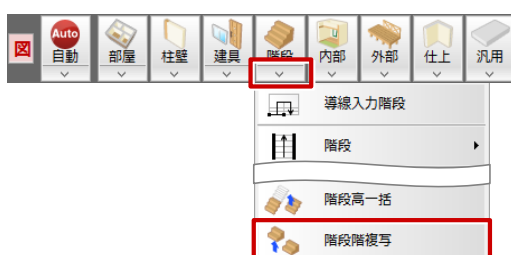
2階建てで、2階に階段を入力した場合

2階建ての場合、2階で改めて階段を入力する必要はありません。

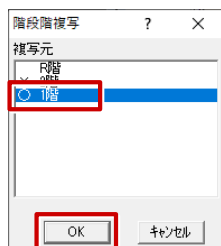
2階で降りる階段を手入力した場合などは、階段が重複してしまうため、「階段階複写」を使用して1階の階段を2階に複写します。このとき、複写された階段属性は自動的に「立体・断面不出力」がONになります。



1 2階平面図の「階段」メニューから「階段階複写」を選びます。



2 「階段階複写」ダイアログで、複写元となる「1階」を選択して「OK」をクリックします。



3 入力済みの階段・踊り場を削除する確認画面が表示されるので、「はい」をクリックします。複写された階段属性は、自動的に立体・断面は不出力、導線は下向き、切断線は最下段での描画に変更されます。

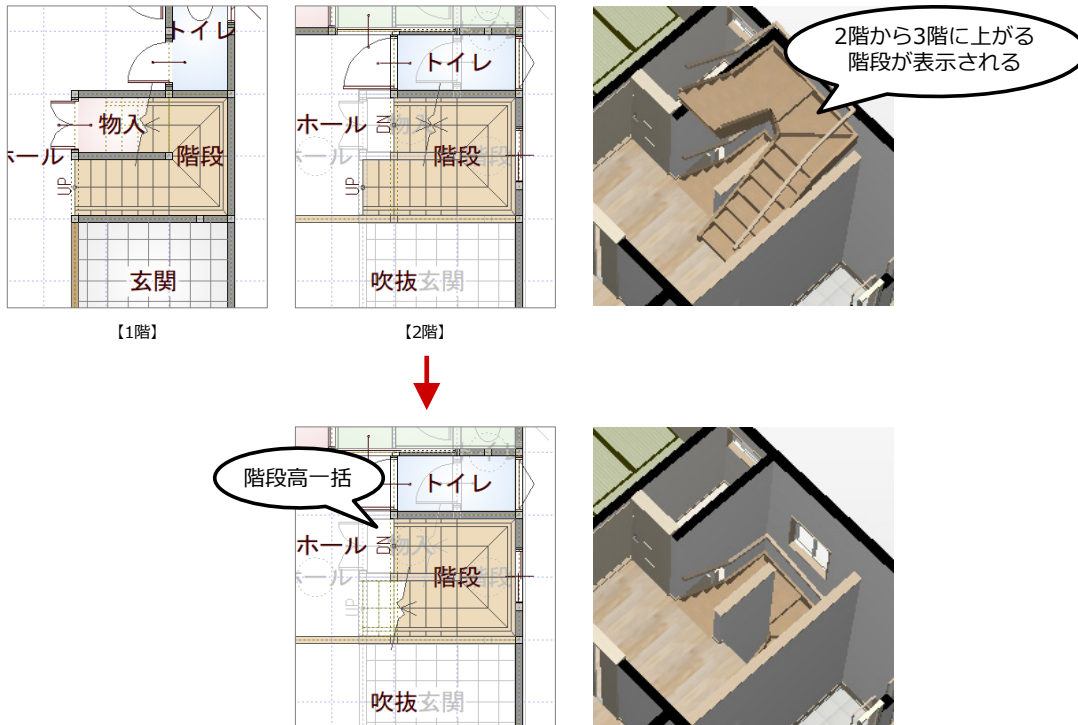


・初めて2階平面図を開いたときは、1階で入力している階段が自動的に複写されます。

3階建てで、1階～2階、2階～3階の階段が異なる場合

3階建ての場合、初めて2階平面図を開いたときや階段階複写を行ったとき、1階で入力している階段が自動的に複写され、2階から3階に上がる階段として入力されます。

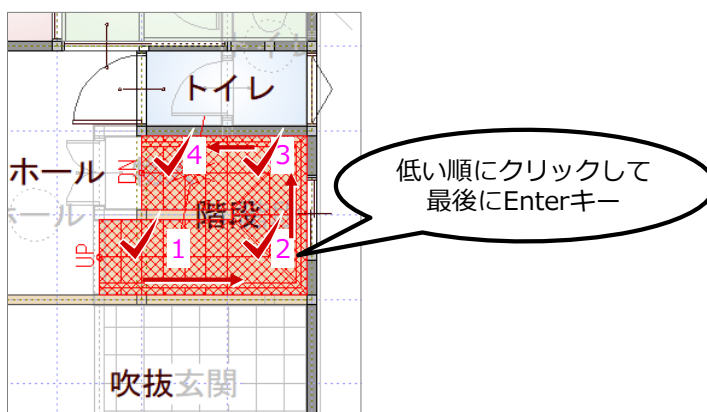
2階から3階に上がる階段が不要な場合は、「階段高一括」を使用して、立体・断面は不出力、導線は下向きの階段に変更します。



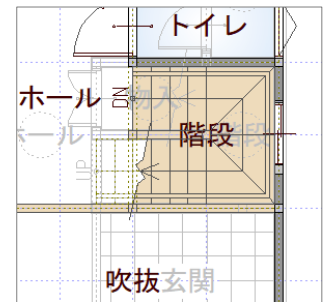
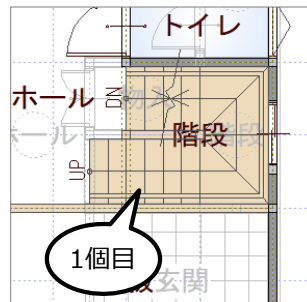
- 1 2階平面図の「階段」メニューから「階段高一括」を選びます。



- 2 階段・踊り場を低い順にクリックして、Enterキーを押します。

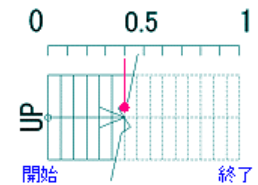


- 3 「階段高一括設定」ダイアログで、「立体・断面不出力」をON、「切断階段」を「1」個目、「描画部分」を「上」にして、「OK」をクリックします。



切断線の設定について

- ・切断線位置：階段の開始位置を0、終了位置を1として切断線の描画位置を設定します。
- ・切断線方向：切断線の傾きを、階段入力時の始点・終点のどちら側を上にするか設定します。
- ・描画部分：切断線の上下どちらの階段を実線で描画するか設定します。



- 4 パースモニタを再作成します。

